

2019年度 国際協力実務者対象 開発プロジェクトの 経済性分析入門研修

ODAを含む開発プロジェクトの経済的、 財務的妥当性を検証する手法を学びます

昨今の日本の開発援助において、様々な開発課題解決に貢献する「質の高いインフラ」への投資が積極的に行われています。そのような状況のもと、途上国の自立的発展や経済成長の基盤となるインフラ（道路・水道・発電所など）整備事業では、経済性分析手法を用いた持続可能なプロジェクト運営/評価の必要性がますます高まっています。

本研修では、初心者を対象に開発プロジェクトの経済性分析の基礎を学びます。実際のプロジェクトの事例を活用し、講義及び、エクセルや電卓を用いた計算演習を通して以下を習得、学習することを目的とします。

- 内部収益率（IRR）、正味現在価値（NPV）といった経済性分析手法に必要な基礎を理解し、その算出の仕方を習得する。
- 演習を通じて、費用と便益の経済価格への変換など、経済性分析特有の分析手法を実践的に学習する。

※経済性分析を初めて学ぶ方を対象としますので、予備知識や経験は必要ありません。参加条件は、日常的にエクセルを使用しており、エクセルを使った計算ができることです。

概要

- 日時： 2020年2月12日（水）、13日（木） 9:30～17:30（2日間）
- 講師： 玉置 知巳氏 帝京大学 経済学部国際経済学科 教授
- 場所： FASiDセミナールーム（東京都港区麻布台）
- 対象： 開発援助実務者（開発コンサルタント、NGO/NPO職員、援助機関職員等）
- 参加費： 26,000円（税込）
（法人賛助会員・FASiDフレンドは20,800円（税込））
- 定員： 25名程度

※応募人数が少ない場合、延期または実施を見送る可能性があります。受講者の選定は基本的に先着順とし、応募者が定員に達した場合は募集を終了します。また、同一のご所属先からの応募が多数の場合、参加人数を限らせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

- 持ち物： ノートPC（エクセルインストール済みのもの）、電卓

プログラム詳細、応募の詳細は次ページをご覧ください。

講師

玉置 知巳（帝京大学 経済学部国際経済学科 教授）

国際協力銀行(JBIC)、国際金融情報センター(JCIF)を経て、アジア開発銀行(ADB)プリンシパル・エコノミスト(東南アジア局、西・中央アジア局)、アジア開発銀行駐日代表。ADBで、アジアの発展途上国に関するマクロ経済分析、支援戦略の構築、プロジェクトの経済性分析などに携わる。現在、東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻客員教授を兼務。専門分野はアジア経済論、開発金融論。

プログラム概要

日にち	時間	研修内容
1日目	9:15~9:30	受付
2月12日 (水)	9:30~9:50	・イントロダクション:本研修の意義・目的 ・講師紹介、受講者自己紹介
	9:50~12:30	・開発プロジェクトにおける経済性分析とは ・内部収益率(IRR)と正味現在価値(NPV) ・財務的内部収益率(FIRR)と経済的内部収益率(EIRR)
	12:30~13:30	ランチ休憩
	13:30~17:00	・練習問題:キャッシュフロー表の作成 ・開発プロジェクトの費用と便益
	17:00~17:30	質疑応答
2日目	9:15~9:30	受付
2月13日 (木)	9:30~12:30	・1日目の復習 ・費用と便益の経済価格への変換 ・練習問題:経済価格への変換 ・経済的内部収益率(EIRR)の推計 ・感度分析の手法
	12:30~13:30	ランチ休憩
	13:30~17:00	・練習問題:EIRRの算出と感度分析 ・総まとめ
	17:00~17:30	質疑応答

※プログラムは予定であり、若干の変更がある可能性があります。

応募方法

■応募方法: 下記URL内、募集ページの応募フォームよりご応募下さい。

https://www.fasid.or.jp/business_management_course/12_index_detail.php

■募集締切: 2020年2月7日(金) 正午 に延長
(定員に達した場合は、早く締め切ることがあります。
受講の可否、及び受講料の支払い方法等は、
2月10日(月)迄に、ご本人にメールにてご連絡します。)

■お問い合わせ先: 人材開発事業部 担当: 高倉
電話: 03-6809-1996 / Email: economic@fasid.or.jp
住所: 〒106-0041
東京都港区麻布台2-4-5メソニック39MTビル6F
アクセス:

東京メトロ日比谷線 神谷町駅 1番出口より徒歩6分
都営大江戸線 赤羽橋駅 赤羽橋口より徒歩7分
都営三田線 御成門駅 A1出口より徒歩10分

